2025年
（令和7年）
4月1日
（第三種郵便物認可
昭和23年4月15日）
毎月3回発行
（第1，第2，第3火曜日）

今号の特集

▷オリエンタル
稲沢カレーフェス応援　③面
▷春夏向け
商品施策特集　⑧～⑭面

中部飲食料新聞社ホームページ
http://chuin.net/【業界情報発信中】

日新蜂蜜株式会社

第3539号
発行所
中部飲食料新聞社
名古屋市中村区名駅5－18－9
電　話（052）571－7116代表
FAX（052）571－7118
東京局
東京都中央区日本橋横山町1-4 203
電　話（03）5614－7531
FAX（03）5614－7532

中部飲食料新聞

大正から食を伝えて100有余年

中部食料品問屋連盟

健康フェスタ開催

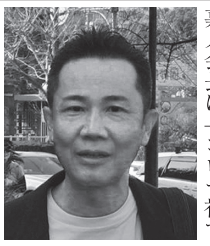
7年ぶり開催に多数参加

中部食料品問屋連盟は3月23日、「第21回健康フェスタ 東山公園一万歩コースウォーキング」を名古屋市内の東山公園で開催。正会員・賛助会員の社員が家族を含めて865人の参加があり、快晴の空や心地良い陽気にも恵まれ盛況な催しとなった。なお、健康フェスタは連盟の春のイベントとして毎年開催し、会員相互の親睦や家族団らんの場として人気を集めている。コロナ禍で感染拡大を憂慮して開催を見送っていたが、今回7年ぶりの開催となった。

受付開始に先立ち永津嘉人会長は「コロナ禍で開催を見送っていたウォーキングであるが、今年7年ぶりの開催となった。参加者も楽しみにしているので、しっかりと運営して欲しい」とスタッフを激励した。

桜の開花への期待が大きかったが、3月中旬まで寒波で気温が低かったことなどから残念ながら蕾は固かった。参加者は早い時間から集まり、親子連れの姿も目立った。今年よりQRコード対応とした受付を済ませた参加者は、メーカー各社の協賛品が詰まったリュックを受け取りコースに向かった。早い時間は寒さが残っていたものの、日差しに恵まれ時間とともに気温は上昇しウォーキングに適した気候となり、参加者は自然豊かなコースを歩き春を実感していた。中間地点では子供向けアトラクションが行われ、景品を手に子どもたちは歓声を挙げていた。コース踏破後には人気ゲームソフトやマッサージ機器などの当たる中食連賞の福引が行われ、当選者は喜びの声を上げていた。参加者からは「久しぶりの開催となり嬉しかった」「春の1万歩コースを歩けて楽しかった」などの声が聞かれた。

健康フェスタ参加券は東山動植物園の入園整理券を兼ねており、ウォーキング後に園内を楽しむ参加者は多かった。



イオン ドアラが東海の店舗の監督に

イオンリテール中部カンパニーは、中日ドラゴンズとオフィシャル・ゴールドパートナー契約を締結。さらに球団公式マスコットのドアラが東海エリアの「イオン」「イオンスタイル」66店舗の監督に就任した。

中部カンパニーはこれまでも名古屋市営地下鉄「ナゴヤドーム前矢田駅」に展開するドラゴンズロードに協賛するなど中日ドラゴンズへのサポートを行ってきた。今回、ドラゴンズロードへの協賛に合わせて、中日ドラゴンズ球団オフィシャル・ゴールドスポンサーに就任し、さらなる応援に努めていく。その一環として球団公式マスコットのドアラを監督として迎え、自由な発想でファンや来店客にワクワクを提供する様々な企画を実施していく。

ゴールドパートナーとなったことで東海エリアの店舗で3月28～30日にプロ野球開幕に合わせた中日ドラゴンズ応援セールを実施したほか、ドアラと春パンダのコラボ商品なども展開している。

3月21日にイオンモールナゴヤドーム前で「ドアラ、イオンの監督に就任における記者会見」が行われ、石河康明イオンリテール中部カンパニー支社長が「以前より中日ドラゴンズをサポートしていたが、今回、さらなるサポートとしてゴールドスポンサー契約を締結し、ドアラに東海エリアの監督に就任してもらった。ドアラの愛されるキャラクターは小売業にとって非常に参考になるものである。監督として自由な発想で多くのワクワクを提供して欲しい」と挨拶。なお、質疑応答でドアラは筆談で対応していた。ドアラ監修の弁当などの商品の開発については「いろいろとリクエストしていきたい」と意気込みを語った。

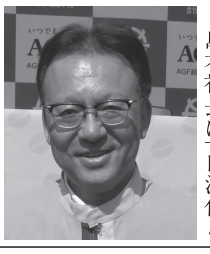
味の素AGF 鈴鹿市と防災協定を締結

味の素AGFは、生産関係会社のAGF鈴鹿を通じて三重県鈴鹿市と「大規模災害時における電力・飲料水等の提供に関する協定」を3月18日に締結。同日に防災協定締結式をAGF鈴鹿で執り行い、AGF鈴鹿の富樫政昭社長と鈴鹿市の末松則子市長が協定書を取り交わし、同社の島本憲仁社長も臨席していた。

AGF鈴鹿は、太陽光発電システムの設備及び蓄電池としても使用可能なEV（電気自動車）、飲料水の提供設備を新たに稼働している。今回締結した防災協定ではこれらの新設備を活用し、大規模災害の発生時において鈴鹿市から要請があった場合に電力や飲料水を地域住民に無償提供していく。AGF鈴鹿の事業所内にて、太陽光発電システムで発電された電力を活用して一度に約50名が充電可能な携帯電話充電ロッカーを開放し、受水槽の飲料水を2か所の水汲み場から給水できる。

締結式の冒頭で富樫社長と末松市長が挨拶。富樫社長は「地域社会の安全・安心を確保することが企業の社会責任であるとの考えのもと、防災力の向上に貢献すべく協定締結に至った」と語り、末松市長は「本市は南海トラフ地震の想定震源域にあり防災・減災対策の推進や地域防災力の向上が喫緊の課題だ。大規模災害時に電力・飲料水等を提供頂けることは心強く、連携体制を構築していきたい」と述べた。

なお、AGF鈴鹿（三重県鈴鹿市南玉造町64－10）は06年4月に発足。同社の主力ブランド「ブレンディ」のスティックやインスタントコーヒー、「ちょっと贅沢な珈琲店」ドリップパックなどを生産する。一般向けの防災協定を結ぶことは当社として初であり、同じく生産拠点のAGF関東（群馬県太田市）でも進めたいと思う。もともと鈴鹿市では施設のネーミングライツや地元スポーツ大会への協賛などの様々な地域密着活動を行っており、昨今相次ぐ災害への対策でも地域住民に貢献したい」と報道関係者にコメントしている。



ハウス食品グループ ハウス食品福岡工場で CO^2排出実質ゼロ化実現

ハウス食品の福岡工場は、24年12月に工場で使用されるエネルギー由来のCO^2排出実質ゼロ化を実現。ソコテック・サーティフィケーション・ジャパンより温室効果ガス（GHG）排出量が適切にオフセットされている第三者保証を受けた。

福岡工場では「バーモントカレー」などのルウカレーや「うまかっちゃん」などの即席麺を製造。工場見学や近隣学校における出張授業、美味しいコーヒーの淹れ方を伝える「出張コーヒー教室」を行い、AGF鈴鹿で使用する水源である鈴鹿川流域の森を整備する【「AGFブレンディの森」鈴鹿 森づくり活動】も実施するなど、地域に根差した活動を展開している。

島本社長は「自治体と活用して一度に約50名が充電可能な携帯電話充電ロッカーを開放し、受水槽の飲料水を2か所の水汲み場から給水できる。

締結式の冒頭で富樫社長と末松市長が挨拶。富樫社長は「地域社会の安全・安心を確保することが企業の社会責任であるとの考えのもと、防災力の向上に貢献すべく協定締結に至った」と語り、末松市長は「本市は南海トラフ地震の想定震源域にあり防災・減災対策の推進や地域防災力の向上が喫緊の課題だ。大規模災害時に電力・飲料水等を提供頂けることは心強く、連携体制を構築していきたい」と述べた。

なお、AGF鈴鹿（三重県鈴鹿市南玉造町64－10）は06年4月に発足。同社の主力ブランド「ブレンディ」のスティックやインスタントコーヒー、「ちょっと贅沢な珈琲店」ドリップパックなどを生産する。一般向けの

中飲 食知る辺

大谷選手、大活躍！

大谷翔平選手らが出場するメジャーリーグの日本での開幕戦は、これぞアメリカンエンターテイメントという内容だった。

食品業界では日清製粉ウェルナや伊藤園が大谷選手を起用した広告展開や商品施策、キャンペーンなどを実施。小売企業でもファミリーマートやセブン-イレブンなどがキャンペーンや関連商品の販売などを行い、実際に観戦チケットを当てた人が身近にいた。メジャーリーグ開幕戦の同じ週にはサッカーワールドカップ日本代表の試合もあり、買い物に訪れた食品スーパーでは「皆様、スポーツ観戦のご準備はお済みでしょうか？当店では美味しいお酒、おつまみを多数ご用意しております」とのアナウンスが流れていた。

大谷選手の大活躍もあり開幕戦は大いに盛り上がった。食品業界、小売企業の販売面への貢献度が気になるのは職業病か。

ガスコージェネレーションシステムの設置及びハウス食品グループ初となるJ－クレジットの導入による【自社による直接排出】の取組み、太陽光パネルの設置やCO^2フリー電力の全面導入による【他社から供給された電機等を自社で使用することに伴う間接排出】の取組みの4つの取り組みによりCO^2排出実質ゼロ化を達成した。

RIKYU SESAME
利久胡麻®

食の楽しみを広げる調味ごま
素材の味を引き立てる、辛みと香り、旨味と食感をお楽しみください

株式会社　真誠（しんせい）　〒481-8526　愛知県北名古屋市片場新町29｜TEL(0568)23-3311　FAX(0568)22-4245｜北海道・東北営業部／関東営業部／中部営業部／近畿営業部／中四国営業部／九州営業部／関ヶ原工場／名古屋工場／胡麻の郷